

報告事項シ

「令和6年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について

「令和6年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について、別紙のとおり報告します。

令和6年7月31日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹



「令和6年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について

令和6年7月31日  
高等学校課

1 概要

本事業は創造力とチャレンジ精神を持った高校生等が、自由な発想で主体的に企画・活動することを支援し、さらには、生徒自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につながることを目的として平成26年度から実施しています。今年度は、選考を通過した以下の11企画を採択し、支援することとしました。

(1) 「走力向上AIコーチングアプリの開発  
～トップアスリートの動きの極意をスマホとAIを使って可視化～」  
(米子高専 代表 梅田 優太) (支援額 500,000円)

トップアスリートに依頼し、動作の映像撮影や測位センサーデバイスによるデータ取得、解析・分析について協力を得る。そして“走りのコーチング”を行ってくれるAIアプリを開発し、陸上・サッカー・野球をはじめとするスポーツ全般の競技力向上に役立てる。

(2) 「日本初!!星取県の高専生による天体観測用分光器の『波長校正ユニット』開発」  
(米子高専 代表 仲西 涼) (支援額 156,000円)

昨年度の採択事業で製作してさじアストロパーク等に寄贈した分光器について、課題点を把握、分析し、その解決を可能にする『波長校正ユニット』を製作し、さじアストロパーク及び米子市児童文化センターに贈呈する。そして、高精度分光観測が可能となるよう協力する。

(3) 「2025大阪・関西万博出展を目指した地域文化×アート×プログラミングによる  
作品作り2 ～出展に向けた本準備～」  
(米子高専 代表 高見 航生) (支援額 375,000円)

2025大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーとともに、地元観光資源である“妖怪”や“花”をモチーフにアート×デジタルの作品制作の本準備をすすめる。また、万博展示の実現を通して、鳥取県の魅力を全国そして世界に発信し地元の活性化につなげる。

(4) 「海ごみ拾いと地引き網でエンジョイ海の課題解決」  
(青谷高校 代表 山本 柚花) (支援額 225,000円)

地域の方と海の課題・魅力を発見・発信する機会として海ごみ拾いと地引き網をセットで行い、安全で楽しい海づくりに貢献する。また、近隣の児童、生徒へのチラシ配布、ポスター掲示や事後の写真パネル展示を行い、持続的開催の基盤を作る。

(5) 「附属SBOプロジェクト～書道パフォーマンスでの交流～」  
(鳥取大学附属特別支援学校 代表 大坪 来斗) (支援額 117,000円)

空港で書道パフォーマンスのイベントを開催することで、地域の方を応援する。また、同世代の人(高校生や大学生)と一緒に書道パフォーマンスを通して交流し、鳥取大学附属特別支援学校のことを知ってもらう。

(6) 「みなと生徒会eスポーツ部」  
(境港総合技術高校 代表 深田 洋樹) (支援額 225,000円)

境港市で「ねんりんピックeスポーツ競技」が開催されることに伴い、本大会への練習も兼ねた、参加者不問の大会を開催する。eスポーツを通じて地域の活性化を図るとともに、イベントの運営を通じて、課題解決能力を身に付ける。

(7) 「まんが×廃校で国際交流プロジェクト！」  
(米子西高校 代表 大松 奏) (支援額 83,000円)

廃校を利用し、地域に住んでいる外国の方に「まんが王国とっとり」である本県の文化を知ってもらえるイベントを開催する。そして、様々な文化や価値観を交流できる機会とする。

(8) 「鳥取来んさいな～鳥取に感謝を～」  
(鳥取西高校 代表 藤原 大和) (支援額 162,000円)

鳥取西高連を作り、他校生や小学生等との交流を深めながら地元鳥取の祭に参加し、鳥取を盛り上げることを目的とする。また、本県の祭について探究し、地域活性化に繋がる提言を行う。

(9) 「小劇場で地域の活性化を目指す」  
(米子東高校 代表 谷田 花奈) (支援額 30,000円)

米子市の中心市街地の空き店舗を活用した小劇場をつくり、地域の交流や文化創造の核をつくることを目指す。都市部及び米子の商店街での上演を行うことで、都市部で米子の取組を周知する。また、小劇場の街中におけるにぎわいの効果を検証する。

(10) 「2024とっとり子どもeスポーツ・デイ」  
(米子松蔭高校 代表 柴田 一輝) (支援額 60,000円)

オンラインでなく対面での対戦を行うeスポーツを開催する。経験の有無を問わず、老若男女様々な立場の者が参加、親睦を図る交流ブースを設置し、多くの人と交流する場を設定する。

(11) 「鳥取の食の魅力を全国に ～地元のこだわり食材で最高のドレッシングを～」  
(米子南高校 代表 松村 颯也) (支援額 67,000円)

「食パラダイス鳥取県」とも呼ばれる豊かな自然で育った食材を使った商品(ドレッシング)を開発し、地元である鳥取県の食の魅力を全国にPRする。

2 応募状況  
13企画

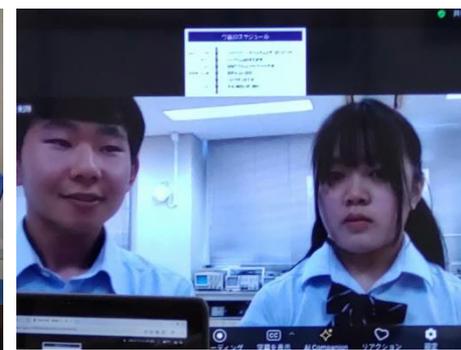
3 選考までの経緯

- 4月4日 県内高等学校、特別支援学校高等部及び米子工業高等専門学校に募集通知を发出
- 5月10日 受付締切
- 1次(書類)審査(13企画)
- 6月15日 2次(プレゼンテーション)審査(11企画)
- 6月24日 決定通知

<2次審査会の様子>



リモートによる審査。自らの企画をプレゼンテーション。



審査員からの質問にも熱心に応答。